

Q⑦ 二之丸庭園は名勝庭園であるが、現地には以下の看板があるだけで十分な説明看板がない。価値をわかってもらう努力が足りないのでは？

名勝 名古屋城二之丸庭園

名勝指定年月日 昭和28年3月31日

二之丸庭園は、元和6年二之丸御殿の新築と共に作庭されたものといわれています。時代と共に改造され特に文政年間に大きく改造されました。この庭園の特徴は、面積が小さい割に作庭当時は丘や森のたたずまいが峻険で谷は深くして巨岩を置み、山上には老樹を茂らせ、後面には、松等を密植させ、退路を隠すなどの要害的構成をなして、一朝有事の際は、城主が一時待避の場所として設計された城郭庭園であることです。その後の改造でやや性質が薄れてきましたが基本の性質は残されています。

現在の庭園は、昔の庭園を調査しその基本の性質を踏まえて拡充復元したものです。面積は、5,137m²(1,567坪)で枯山水廻遊式庭園で庭園内の建物を挟み、南庭と北庭とに別れ、北庭が比較的、創設当時の姿をよく残しています。北庭は、五つの築山で囲まれ、三つの中島と、数多くの出島のある池を中心として作られ、石橋、山道、岸づたいなど変化のある廻路がめぐらされています。池には、深い溪谷の趣きを表現し、池底は庄内玉石敷で、その下は、南蛮たたきになっています。

石組は、佐久島石、篠島石、幡豆石、桃取石等数多くの名石が使用され、樹木は、松を始めとして、観賞用、薬用、非常用のものなどが植えられています。



名勝二之丸庭園の整備計画の公表を

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35～
2 二之丸庭園の保存整備 (名勝指定区域から順次)										
	発掘調査・測量・整備									

2 名勝 二之丸庭園の保存整備

平成24年度に保存管理や整備の方針を定めた「保存管理計画」を策定し、この計画に基づき、名勝指定区域から順次修復整備を行っています。



二之丸庭園発掘現場



石橋

Q⑧ 名勝二之丸庭園こそ名古屋城の宝である。その発掘整備がされているとのことだが、そのパース図（将来像）がサッパリ知らされていない。将来どうなるのか？（左は名古屋城のホームページ）

Q⑨ 二之丸庭園の池は御庭の最高のスポットなのに、この景観は何なのか？台無し。



Q⑩ 栄螺山は草ぼうぼうで雑草だらけ。これで良いのか？



Q⑪ 二子山も草ぼうぼうで雑草だらけ。これで良いのか？



Q⑫ 権現山は御庭のシンボルなのに、この景観は何なのか？



二ノ丸庭園の整備を



Q⑬ 北御庭にある
通路は土がむき出し
。どうにかならない
か？



二ノ丸の茶席の復元を



Q⑭ 東二之丸庭園
の霜傑亭（せっけつ
てい）という茶席の
跡があるが、いつ復
元するのか？



何時までもほかっておかないで

Q⑮ 二之丸庭園
の南池跡は、なぜ
何時までもほかって
あるのか？ 何
時になったら元の
姿になるのか？

